

設計業務委託仕様書

1. 業務名

筑西市消防団第1分団消防車庫及び詰所新築工事設計業務委託

2. 工事名

筑西市消防団第1分団消防車庫及び詰所新築工事

3. 委託業務範囲

(1) 実施設計業務

- ① 実施設計（建築意匠、建築構造、建築設備（電気、機械、給排水）、外構）
- ② 積算（建築意匠、建築構造、建築設備（電気、機械、給排水）、外構）
- ③ 建築確認申請業務（関係機関との事前協議、申請書作成・提出、質疑応答を含む）
- ④ 構造計算書作成
- ⑤ 設備設計計算書作成（電気、機械、給排水）

4. 計画施設概要

- (1) 施設名称 筑西市消防団第1分団消防車庫及び詰所 鉄骨2階建 延べ床約80㎡
- (2) 所在地 筑西市甲字金井町892番2
- (3) 主要用途 車庫・詰所

5. 設計と条件

(1) 敷地の条件

敷地面積 宅地 198㎡

用途地域 都市計画法に基づく市街化区域（第一種住居地域）

(2) 建設の条件

概算工事費予定 ￥30,000千円（消費税込み）

(3) 施設の条件

外構については、一般的な外構設備のほか、消防団活動に必要な外構設備としてホース乾燥塔も含むこととする。

(4) 設計工期

契約締結日の翌日から120日間

6. 設計業務委託

(1) 設計業務の内容等

- ① 設計業務（以下「業務」という。）の内容は、「建築士法第25条の規定に基づき、建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準」（平成21年1月7日国土交通省告示第15号）の別表第2に掲げるものとする。
- ② 業務は設計と条件等を基本とし、適用基準等に基づき、原則概算工事費内で、実施するものとする。
- ③ 業務実施にあたっての、関係各機関との設計上必要な打合せ、説明、確認申請書等提出書類の作成等は受注者が行うものとする。
- ④ 発注者の指示に基づき、設計変更の必要が生じた場合は、当該設計変更に関する設計図書及び積算数量算出書を作成する。

(2) 設計図書の作成

- ① 設計図書の作成は、「建築及び設備工事設計図書作成要領」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に基づき行うものとする。
- ② 指定された適用基準等により難しい特殊な工法、材料、製品等を採用する場合には、あらかじめ監督員と協議し、承諾を受けなければならない。
- ③ 設計図書には、特定の製品名・製造所又はこれが推定されるように記載してはならない。これにより難しい場合は、あらかじめ監督員と協議し、承諾を受けなければならない。
- ④ 積算業務は、監督員の承諾を得た実施設計図書に基づき行うものとする。

(3) 業務計画書の提出

- ① 受注者は、契約締結後5日以内に次に掲げる書類を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。
 - ア 業務工程表
 - イ 管理技術者選任通知書（氏名、資格等）
 - ウ 業務実施体制
 - エ その他、監督員が必要に応じ指定する書類
- ② 受注者は、①に定める書類に変更が生じた場合には、速やかに変更の届けを提出し、監督員の承諾を受けなければならない。

(4) 管理技術者の資格要件及び再委託について

- ① 管理技術者の資格は、建築士法による一級建築士とする。
- ② 受注者は、設計業務における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分を再委託してはならない。

(5) 打合せ及び記録

- ①受注者は、監督員と設計等に関する打合せを行った場合は、その結果を記録し、速やかに監督員に提出しなければならない。
- ②受注者は、設計に関して関係官署と打合せを行った時は、その内容を記録し、速やかに監督員に提出しなければならない。

(6) 提出図書等

- ①業務に関する報告書（定例報告書等）は、A4版を原則とする。
- ②設計図の大きさはA3版とし、その他の書面はA4版又はA3版を原則とする。
- ③図面の編集及び審査用図書等の作成については、監督員の指示を受けるものとする。
- ④設計図書データ（設計図（CADデータ形式含む）、内訳書（金入・金抜き）、特記仕様書、各種計算書、積算結果としての見積書）は、業務名を表示し、PDFファイル形式及び監督員が指示するCADデータ形式（DWG、JWW等）にて、CD-R（またはUSBメモリ、オンラインストレージ等）にて提出するものとする。ただし、PDFファイルデータが3Mバイトを超える場合、1ファイル当たり3Mバイトを超えないよう分割して提出すること。
- ⑤工事費積算書は、監督員の指示する様式により作成するものとする。

(7) 審査

- ①受注者は、業務が終了したときは、完了通知を提出するとともに、(11)の成果品を提出し、監督員の審査を受けなければならない。
- ②受注者は、業務終了期限前であっても監督員があらかじめ成果品の提出時期を指定した場合は、その指定した期限までに成果品を提出し、審査を受けなければならない。

(8) 資料等の貸与

- ①委託者は設計に必要な既存施設の図面、その他関係資料（以下「資料」という。）を貸与する。
- ②受注者は、貸与を受けた資料を紛失・汚損しないよう取り扱うものとし、これを公表し、貸与、複製、あるいは当該設計に携わる者以外に開示してはならない。特に、積算に関する資料については、厳重な管理をしなければならない。ただし、監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。
- ③受注者は、業務が終了したとき、又は業務期間中であっても、監督員が請求した場合には、貸与を受けた資料を遅滞なく返納しなければならない。

(9) 疑義に対する協議

受注者は、業務に関し疑義が生じた場合には、速やかに監督員と協議するものとする。

(1 0) 適用基準等

関係法令のほか、特記なき場合は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定又は監修したもので、設計時点における最新版とする。

建築・設備積算単価については、積算資料・建築施工単価・建設物価・コスト情報・公共工事設計労務単価表積算資料（建設物価に掲載）とし、無き場合は、原則として3社以上の見積りによるものとし、見積比較表を作成すること。

(1 1) 実施設計成果品

① 設計図書

・ 建築意匠	原図 1 部、製本済図書 2 部
・ 建築構造	原図 1 部、製本済図書 2 部
・ 建築設備（電気）	原図 1 部、製本済図書 2 部
・ 建築設備（機械）	原図 1 部、製本済図書 2 部
・ 建築設備（給排水）	原図 1 部、製本済図書 2 部
・ 建築設備（外構）	原図 1 部、製本済図書 2 部
・ その他（監督員が指示する設計図書）	

② 内訳書

・ 数量・単価入り（金入）	原図 1 部、印刷物 1 部
・ 数量入り・単価無し（金抜き）	原図 1 部、印刷物 1 部

③ 特記仕様書

原図 1 部、印刷物 1 部

④ 構造計算書

原図 1 部、印刷物 1 部

⑤ 設備設計計算書

原図 1 部、印刷物 1 部

⑥ 積算数量算出書

原図 1 部、印刷物 1 部

⑦ 建築確認申請書及び関係法令に基づく申請書類 1 式（監督員が指示する部数）

⑧ 各技術資料（カタログ等）

原図 1 部、印刷物 1 部

⑨ 各種記録書（打合せ記録、質疑応答記録等）

原図 1 部、印刷物 1 部

⑩ その他指定するもの

・ リサイクル計画書	原図 1 部、印刷物 1 部
・ リサイクル阻害要因説明書	原図 1 部、印刷物 1 部
・ コスト縮減効果調書	原図 1 部、印刷物 1 部

(12) その他

- ①本業務における成果品の内容については、発注者が自由に公表できるものとし、当該施設の維持管理、改築等に使用できるものとする。
- ②業務完了後 10 年間は受注者において成果品の設計図書の写しを保存する。ただし、監督職員が保存の必要がないとして指示した場合は、この限りではない。